

釧路ベイロータリークラブ会報

Rotary  |  イマジン
ロータリー

釧路ベイロータリークラブ会報

会長方針「みんなが楽しいロータリー」

2022-2023年度 第9回(通算第1154回)

プログラム「地区補助金報告会」(担当)奉仕プロジェクト委員会

■日時:令和4年 9月6日(火)18時30分~ ■例会場:ANA クラウンプラザホテル釧路

(会長)濱田 聖子 (副会長)春日 賢二 (幹事)千葉 潔 (副幹事)遠藤 若枝

- 点 鐘 濱田 聖子 会長
- 国歌斉唱 「君が代」
- ロータリーソング 「奉仕の理想」

- 唱 和 「4つのテスト」

- ソングリーダー 貝嶋 政治 君



- 会長挨拶 濱田聖子 会長



皆様こんばんは！先週の例会を済ませて駆け足で京都六角堂の本校に生け花研究会に行ってきました。羽田行きの機中ではクラブ会長の挨拶文を考え、そして羽田から京都迄は生け花の作品構成を考えたりと、頭の切り替えが大変ですが、今の状況の中で、出来るかぎりの努力をしています。京都で1年ぶりに会った友にクラブの

カラーの会報を見せてあげました。目を見張って読んでいる姿をみて誇らしい気持ちになりました。泥縄式で向かった生け花作品も何とか OK を頂きいつもの暑い京都にも満足して帰宅してきましたが、Jal チケットの私は残念なことに豚まんの 551 がANA 空港ビルしか売って無く買えませんでした。

がっかりです。

先週、貝嶋直前会長のフォーラムをお聞きして年の上下に関わらず話が出る…が印象にのこりました。

そしてロータリーが取り持つご縁で御結婚され、何よりも奥様もロータリーの理解者であるのは素晴らしいことだと感じました。

今日の「地区補助金報告例会では私が 22 年間指導させて頂きました釧路工業高等専門学校華道部に社会青少年育成事業としてハサミその他 5 点を寄贈させて頂きました。

最初の補助金は 10 年前の游学館から始まり現在にいたっています。

伝統文化である華道、玄関に 1 輪の花を飾りお客様を迎えるあたたかい心、優しい心、RI 会長インクルージョンにうたわれている光景のひとコマでしょう。

青少年達に日本の伝統文化を育んでいく上でこの度の社会・青少年育成事業が手助けになれば幸いです。

社会・青少年育成事業担当の千葉幹事よろしく願いいたします。

幹事報告

千葉 潔 幹事



- ① 9 月のロータリーレートは 1 ドル 139 円です
- ② 第 7 分区ロータリーアン・マスターズゴルフ大会が 2023 年 5 月 21 日(日)に開催される事となりました。
- ③ 第 7 分区各クラブ様より 9 月の例会プログラムが届いております。パーソナルボックス上に置いてありますので、ご確認下さい。
- ④ 次週の例会は 9 月 11 日(日) 野遊会です。日付のお間違いのない様にお願ひ致します。
- ⑤ 本日の例会終了後 3 階花の間において理事会がございます。理事役員の皆さま、宜しくお願ひ致します

各種記念日の紹介(親睦活動委員会)



【入会記念日】

横山豊君 令和2年9月15日(2年目)
広報誌の原稿(私の楽しみ)執筆依頼
致しますのでよろしくお願い致します。



【誕生祝】

平野知子さん 平成23年9月10日(11年目)
行事では色々なものをいつもお借り
しています。ありがとうございます。



☆ **本日のニコニコ献金合計**
20,000円 累計 233,000円
小銭献金 120円 累計 2,322円

【大槻先生・稲守先生を迎えて】

濱田聖子さん

【大槻先生・稲守先生宜しくお願いします】

貝嶋政治君、千葉潔君、春日賢二君、
池田圭樹君、遠藤若枝さん、後藤義信
君、漆崎隆君、森圭一郎君、澤田雅仁
君、葎本正美君

本日のプログラム

地区補助金報告会

担当 奉仕プロジェクト委員会



奉仕プロジェクト委員会 委員長 千葉 潔

皆様 こんにちは
奉仕プロジェクト委員会の千葉です。
宜しくお願い致します。
本日のプログラムですが、『地区補助
金報告会』となっております。
今年度のプロジェクトは 釧路工業高
等専門学校 茶道部華道 青少年育成
計画です。高専華道部は今年で設立
30年目に入り、現在 21名の部員で
活動されております。
その活動状況は、限られた華道の道具
を共同で使用している為、思う様な活
動が出来ていないと伺っております。
そこで、この度のプロジェクトにおい
て、十分な部活動を行える為のサポー
トとして華道具などを贈呈し、青少年
育成事業を実施する事と致しました。
十分な道具が一人一人に行き渡る事
により、お花に触れる時間を増やして
頂き、お花を生ける事により、想像力、

集中力を養い、今後の社会生活に生かして頂けるものと思っております。

近年では、コロナ禍という事でもありまして、オンラインでのお花の展覧会など、さまざまな形で日本伝統芸術が広まっているそうです。

日本の伝統芸術の代表格でもある華道です。今後も高専華道部の皆さまのご活躍に期待致しまして、今回のプロジェクトの報告と致します。

本日は高専華道部より、担当顧問の大槻 香子 先生と 稲守 栄 先生をお招きしての例会でございます。

それでは、ここで 濱田会長より、茶道部華道 担当顧問 大槻香子 先生、稲守 栄 先生に目録の贈呈です。

濱田会長・大槻先生・稲守先生、ご登壇下さい。

ここで大槻先生・稲守先生より卓話をして頂きます。

大槻先生・稲守先生、宜しくお願い致します。

【大槻先生・稲守先生卓話】



皆さまこんばんわ。釧路高専から来ました茶道部華道の顧問をしております大槻と申します。並びに稲守のほうも一緒に発表させて頂きたいと思

います。では、スライドの方で説明させていただきます。

この度はお招きありがとうございます。何度もご紹介頂いて光栄でございます。私たちは釧路高専の茶道部です。茶道部の中でずっと華道に取り組んで参りました。その中で、会長の濱田先生とのご縁が出来まして、より熱心に華道に取り組んでおります。

まずは、本校の釧路高専の茶道部ですが、現在部員が 21 名で活動しております。高専と言えば、男子が多い学校ですが、今年は 1 年生の男子が 3 人も入ってくれまして、男子 5 人女子 16 人で活動しています。専門講師として華道と茶道の先生がお稽古をしに来てくれておりまして、華道は濱田先生が 2001 年よりずっと教えてに来てくれております。顧問は私大槻とあと中島、そして稲守の 3 人でずっと続けております。皆さんご存じかと思いますが、釧路高専は大楽毛の端にある中学校を卒業後に入学する 5 年制の工業に特化した専門を教える学校です。現在、3 コース 5 分野で展開しており、専攻科も含めまして学生数約 800 人。釧路の中の高校と並べてみると実は人数が多い学校ではあります。ただ、半分以上が寮生で、釧路市内から通われているお子さんが少なく、全道はもちろん、遠くは九州、関東と全国から学生が集まっている学校です。

では、まず茶道の中の華道という位置づけについてお話をしていきたいと思っております。我々が茶道部を創部したのが、かれこれ 30 年以上前です。茶道

と華道のかかわりは非常に深く、茶道が始まった時から華道とは切り離せず、お花のお稽古も始まっています。最初は茶道の先生がお花も教えていましたが、その先生が切り替わるときに濱田先生をご紹介頂いて、それからずっと濱田先生にご教授いただいている形になっております。

茶道の床には必ずお花を設えます。ただ、お花を置くというだけじゃなくて、どのようにお客様をおもてなしするのかを考えながら、お花を生けるという心を持たなくてははいけません。そのためには、お花の基本を非常に重要視しております。茶道なので、千利休が茶の湯の始祖というか始められたのは、皆さんご存じだと思いますけども、千利休の茶の湯という『侘茶』と言って、侘び寂びの質素なお花で、茶花も野の花を使うのが基本であります。それとは対して私たちの華道の流派は池坊なのですが、池坊の華道も、茶の湯と同じかそれよりも古い歴史があり、お花は元々、仏さまに供えをするために生まれたものと伺っております。それもやはり、お花の四季の折々を非常に大事にしているというところで、利休の志と通ずるものがあるかと思えます。こういった中で、茶道の中で池坊の濱田先生をご紹介頂いたことは非常に我々茶道部にとっては幸せなことだったと思えます。

それでは、実際にどんなお稽古をしているかご紹介します。

普段はお花ではなく、お茶をお稽古している場所にお花の準備をしていき

ます。狭い部屋なので、部員全員が一同に介してやることはとても出来ないで、だいたい10人以下でローテーションをしてやっております。決まった人数分のハサミや花器を用意しまして、お花はいつも濱田先生が学生の費用負担が重くならないようリーズナブルでたくさんのお花を用意して頂いて持ってきていただいております。池坊のお花は、『立花』と『生花』と『自由花』の3つの大きな形がありますが、高専は、その中で自由花をずっと習っております。この日のお稽古は、ひまわりとチースとユーカリの3種類だけのお花の材料で生けるというお稽古でした。少ない花材、花の材料でも、器が変わったりとか、生ける人が変わったりとかで様々な作品が出来上がっていきます。1人1人の学生が生け終わったところから先生のご指導があつて、アドバイスにしたがつて手直しをします。全部終わった後には、濱田先生から全体の講評があります。華道の技術的なこととか、ちょっとしたお花のことのお話などがあり、こうしたことを積み重ねていく形になっています。この日に生けた花材は3つ同じ材料ですが、それぞれやはりその学生の個性がでる作品になっています。

次に1年間の活動についてお話をいたします。1年間を通した活動としては実はいろんな取組みを行っております。先ほどご紹介をしたお稽古は基本的には月1回です。それに加え、それぞれの季節によってイベントがご

ざいます。また、普段お稽古したお花を玄関に飾るという事もやっています。これは学校美化への協力になり、入学式ですとか卒業式とか、オープンキャンパスなどの大きなイベントの時には、学校の方がお花代を出してくれるので、普段のお稽古よりたくさんのお花材を使って生けます。こういった活動にも普段のお稽古の成果が出ているかと思えます。

それから6月下旬から7月上旬にかけて、短期留学生が高専に来ます。その学生たちに、濱田先生がメイン講師で、部員たちが補助について華道体験教室を実施しています。外国人の方に華道、日本の文化を伝えることが目的です。いろいろな場面で日本文化を紹介するのに華道は非常に好評なのですが、留学生の皆さんも華道を非常に喜んでやって頂いております。

7月下旬のオープンキャンパスは、茶道がメインのイベントではあるんですけども、私たちは華道の取組みというよりも部活の成果の発表として、オープンキャンパスで会場にお花をたくさん飾って華道もやっていますということを中学生にアピールしております。

10月下旬に、最大が一番大きなイベントの学校祭があります。1年間の成果をこの学校祭という場で発揮するために、たくさんのお花と大きな作品『大作』を作ります。『大作』は、花器と花だけではなく、いろいろな材料を使い工夫を凝らした大きな作品を作ることです。お花をただ水に生ける

のではないので、その時の展示テーマにあった作品にするため、アイデアを出し、どういった大きさにしたら映えるのか、工作はどうしたらいいかなどを学生たちは考えながら、そして濱田先生にご指導を受けながら作っております。毎年、毎年華やかな作品ができあがります。この2年はコロナ禍で、外のお客さまをご招待して見て頂くことができないのが残念ですが、それでも、学生たちはいつもと変わらず頑張って作品を作っていました。

学外の活動、取組みをいくつかご紹介いたします。華道はスポーツなどと違って「大会」がないので対外的に成果を競うという場が少ないのですが、池坊は学校華道に非常に力を入れているところで、学生むけのコンテストをいくつか実施しています。高専ではその中の「インターネット華展」に毎年参加しています。インターネット華展は華道作品の写真とその作品コメントをネット上で池坊に送り、その写真で審査をして頂けるというコンテストです。主に、学校祭の時の作品をなるべく綺麗に写真撮影をして、審査に送っています。その中で、2019年度は、初めて全国で5番目くらいの賞を頂くことができました。この時の出品数が2万点ぐらいの中の5番目なので、非常に名誉のあることだと思います。こちらの受賞作品は普通の花器ではなくて、ホラ貝みたいな大きな貝に生けております。こういった発想の豊かさなんかも、濱田先生のご指導によってできたものかなと思っています。

また、この作品に対するコメントは、学生自身が作文をします。この作品に込めた思い、なぜこういった作品になったのか、この花を使った理由など、ただお花を生けるだけじゃなく様々なことを発想し、それを言葉にすることも華道の勉強で、それができるとも華道の良い所ではないかと私は思っています。

それから、濱田先生の社中展が毎年行われています。それに出展させて頂いたり、ちょっとしたお手伝いをさせて頂いたことがございます。少し前になりますが、釧路高専が濱田社中展の一画のコーナーを設けて頂いて、制作展示をしたときの写真がこちらになります。その後も濱田先生の社中展には、度々学生の作品を出展させて頂いたり、ご協力させて頂いたりしています。また池坊釧路支部展への出品や、イベントのお手伝いなどもさせて頂いたこともあります。さらに何年か前に北海道全体の華道連合展というすごく大きいイベントがあったときに、私たち学生が華道部としてイベントのお手伝いをさせて頂いたという事もございました。このときも本当に非常に思い出深いお手伝いになったかなと思います。

最後になりますけども、寄贈いただいた品についてご紹介したいと思います。本当にたくさんの品物が送られてきました。お花を生ける花器、それからお花鋏。実は、池坊の華道にはたいへんたくさんの針金を使います。その針金のセットや、針金を切る専用の

ペンチです。今回、釧路ベイロータリークラブ様から寄贈していただいた花器は、非常にとってもユニークで可愛くてワクワクするような形のもがたくさん送られてきました。早速ですが、私と稲守でいただいた花器を使ってお花を生けさせて頂きました。こちらは稲守が生けた作品で、私は小さい花器でこのように生けさせて頂きました。これらのこういったたくさんの花器で、作品の幅・活動の幅が本当に広がると思います。

最後に、釧路高専の茶道部の華道の活動についてまとめます。

茶道部は創部当時からお花とお茶と共に学んでおります。創部以来池坊の流派で教えて頂いており、濱田先生には2001年からずっと教授して頂いて、20年以上非常に高専に貢献して頂いております。

また華道は、学生個人個人のイメージーションや気持ちを育てるのはもちろん、広く日本文化を伝えること、国際交流に非常に役立つので、これからも留学生の交流と共に続けていきたいと思っております。

また華道を通じたボランティアや対外的な交流は学生の成長を促進させるものと考えておりますので、いろいろな活動も華道を通して行えるよう精進したいと考えております。

今回は本当にたくさんの貴重なものをありがとうございました。

ご清聴ありがとうございます。

■ **ベイクラブ会員から一言**

《私の楽しみ》伊藤広樹



改めて自分の楽しみを考える機会を頂きました。

一貫した趣味は特にはありません。子供の頃は、自転車で海や川で釣りを楽しみ、冬は山スキー・スケート等厚岸・白糠・標茶町まで行ってました。20代前半は、ドライブ、冬はスキーにはまっていた時代でした。

20代後半は、ゴルフにはまり毎週3回以上練習に行って月3回以上ラウンドし、スコアの100を切る頃が一番一生懸命していました。

最近の楽しみといえば、日常的に人に会ってお酒をのみかわしながら会話をしたり、週末の晩酌等ウキスキー、ワインが好きです。

お酒が好きという観点から旅行も大好きで、行く先々で地元の美味しい物を摘みながらお酒を楽しむ、行きたい所はたくさんあります。

先々週は、湘南・鎌倉・横浜・木更津で娘家族と楽しいひと時を過ごしてきました。

暇とお金があれば世界中、旅をしたいです。

体を動かす事が少ない中で、20代後半

から始めたゴルフ、いまでは年間15回程度で上達するほど練習はしていませんけれども気分転換や、歩く事を心掛けて楽しくラウンドしています。まだまだ子育て中、末っ子の大学卒業までは仕事中心の毎日で日々忙しく過ごしている中で、ロータリーの例会があり、仲間との会合があり体に気を付けながらメリハリをもって過ごしています。

《 例会風景 》

奉仕の理想 斉唱



楽しい夕食の一コマです



相変わらずPCR検査大変なんでしょうか？どうぞお体にお気を付けてください



真剣な話題でしょうか？



卓話前は緊張しますよね



濱田会長より 目録の贈呈です



高専華道部生徒さんと濱田会長

この日の花材は

- ・ヒマワリ
- ・チース
- ・ユウカリ

少ない花材でも
お稽古を積めば美しい
作品が仕上がります



出来上がった学生から
先生の指導を受けます

後藤委員長より出席報告です



濱田会長が高専華道部生徒さんに華道をご指導されている場面です。

大槻先生・稲守先生素晴らしい卓話・資料ありがとうございました。

釧路高専華道部の皆様これからもご活躍ください。



釧路ベイロータリークラブ出席委員会

在籍会員数	21名	賜暇 / 免除	欠席 / メイクアップ	出席率
今週の出席率	出席 16名	名 / 1名	4名 / 名	80%
日修正出席率	名	名 / 名	名 / 名	%

会報・雑誌・IT委員長 横山 豊 : yokoyama_jiritsu@email.plala.or.jp

クラブ事務所

副委員長 伊藤 広樹 : landito@peace.ocn.ne.jp

釧路市幸町14丁目1-1 ノースコートサンスイ2F

委員 森 圭一郎 : fujitokenkogyo@purple.plala.or.jp

TEL : (0154) 23-6175 FAX : (0154) 23-6213

委員 後藤 義信 : yoshinob510@outlook.com

URL : //www.rc-kushiro.jp/bay/